

THE KŌHŌ NANKOKU



# 広報 南国

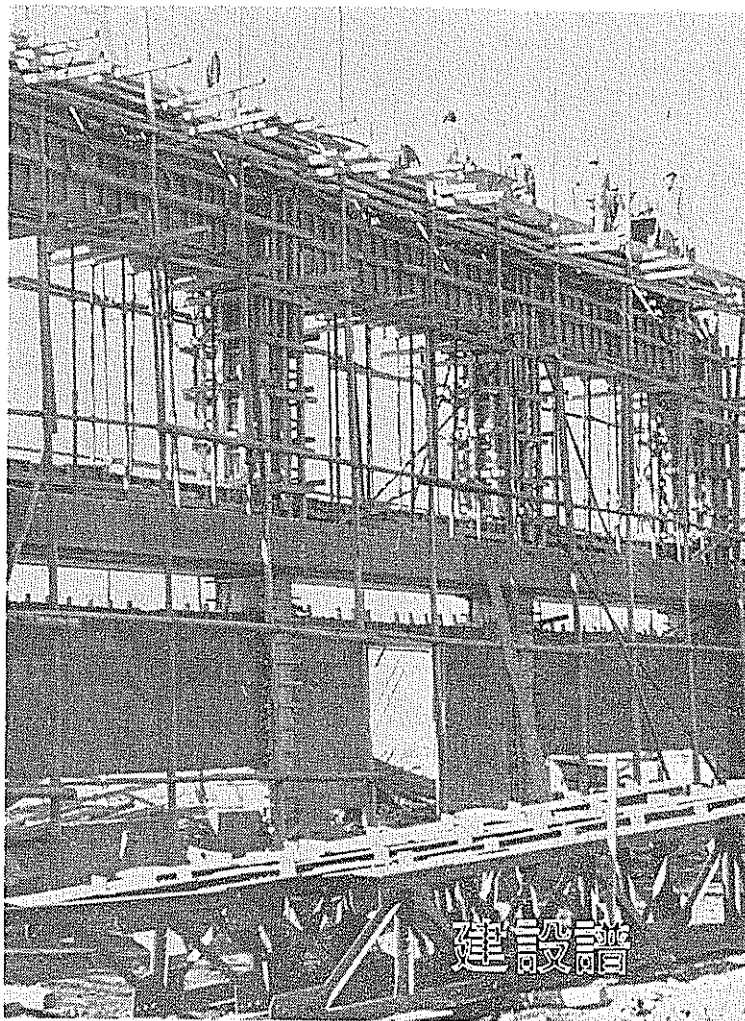
第 8 4 号

昭和42年 2月 1日

編集発行  
南 国 市 広 報 委 員 会

事 務 所  
高 知 県 南 国 市 役 所 内  
(電 2111)

印 刷 川 比 印 刷 株 式 会 社  
(電 3151・有線155-11)



## 市民体育館

す  
す  
み  
ゆ  
く

体育を愛好する人たちはもとより、一般の人たちにも待ち望まれていました市民体育館は、十一月の起工式以来、五月完成を目指して着々と建設が進められていますが、いまその外観が見られるようになりました。

この体育館は公民館活動にも利用されることにもなっており、完成の日が待たれています。

酒なくて、なんのおれのさくらかな などと酒を謳歌した詩歌の類は多い、ところがその酒によって身をほろぼしたのも数多い。▼

酒はひとりですづかに飲むものと牧水は歌い、古来より百葉の長ともいわれている。適度にたしなむことはよいものだ、胃や肝臓をおかし、イカンゾウにしたり、アルコール中毒症にしては、一生うだつがあがったものではない。百葉あつて一利なしだ。▼ある人がある主婦の話し合いの座での話しをしたが、酒の功罪論から、主人の酒をふうずるためのあの手、この手の方法論に花を咲かしたなかで朝のみそ汁の中へ酒を入れ、しかも毎朝その量を少しづつ多くしてゆこうらに、主人の晩しゃくの飲みがしだいに減り、さしもの大酒飲みも口にしないようになったという実践論まで飛び出したが、要する夫には適量に飲ましてあげようということになったとか。お困りの奥さまみそ汁戦法をためしてみても、しかし保証の限りではない。

